

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和6年1月分:速報)

<対世界>

- 輸出総額:8,651 億円(伸率: +19.5%) ⇒ 21か月連続のプラス
 - ・順位: 18位、1月としては1位
 - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(541か月、1月は46か月)による。以下同じ。】
 - ・増加品目:自動車(同+51.5%)、半導体等製造装置(同+64.4%)
- 輸入総額:8,743 億円(伸率:▲14.8%) ⇒ 9か月連続のマイナス
 - ・順位: 19位、1月としては2位
 - ・減少品目:石炭(同▲44.1%)、原粗油(同▲14.3%)
- 差引額:▲92 億円(伸率:▲96.9%) ⇒ 8か月ぶりの輸入超過
 - ・順位: 307位、1月としては22位
 - 為替レート: 2024年1月:143.95円/ドル(2023年1月:132.08円/ドルと比べ9.0%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(1,380億円→2,090億円、伸率: +51.5%)は、中国(152億円→524億円、同3.4倍)及びアメリカ(306億円→530億円、同+73.2%)向けが増加し、12か月連続のプラスとなった。

また、半導体等製造装置(464億円→764億円、同+64.4%)は、韓国(274億円→462億円、同+68.5%)及び中国(126億円→190億円、同+50.9%)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

一方、船舶(503億円→326億円、同▲35.2%)は、パナマ(163億円→73億円、同▲55.5%)及びリベリア(117億円→35億円、同▲70.5%)向けが減少し、7か月ぶりのマイナスとなった。

○輸入

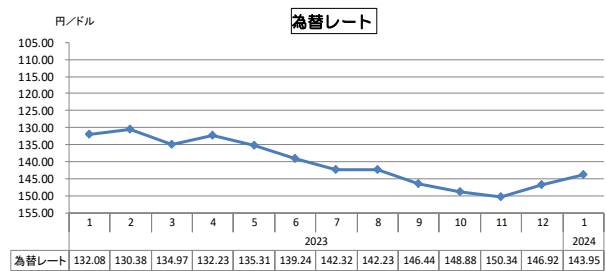
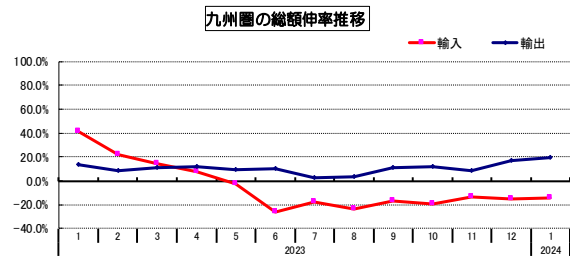
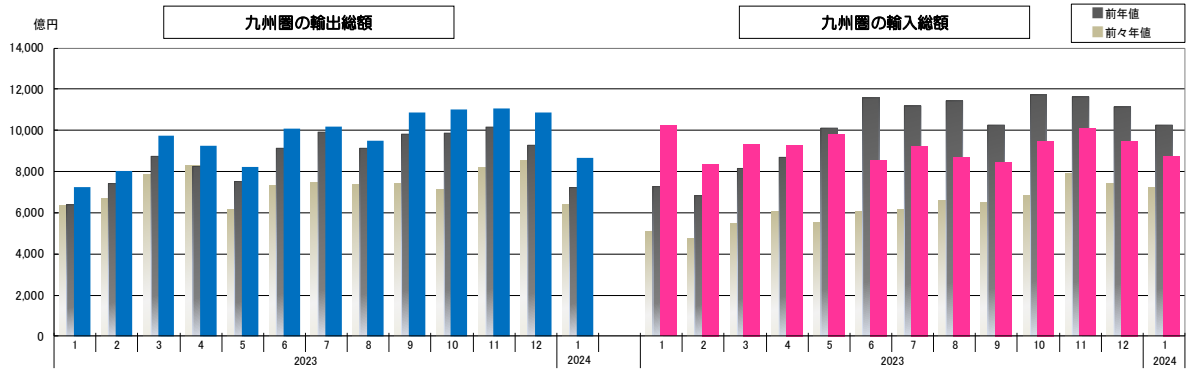
石炭(406万MT→361万MT、伸率:▲11.2%、1,879億円→1,050億円、同▲44.1%)は、数量、価額ともに減少し、9か月連続のマイナスとなった。

また、原粗油(287万KL→231万KL、同▲19.3%、2,077億円→1,781億円、同▲14.3%)は、数量、価額ともに減少し、2か月連続のマイナスとなった。

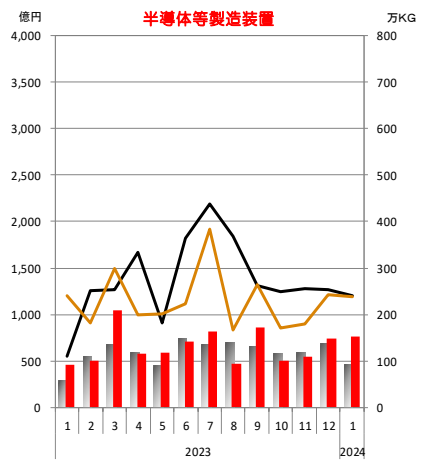
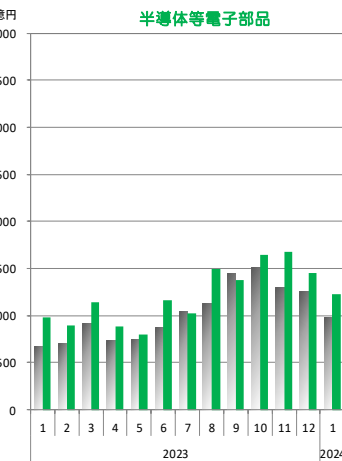
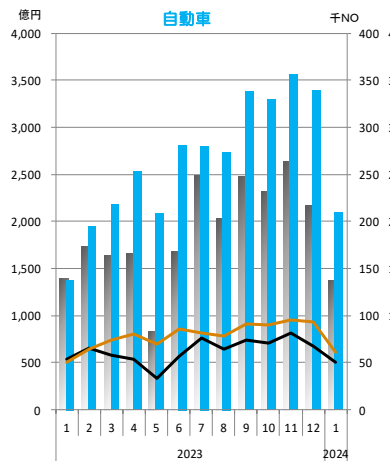
一方、自動車(5億円→33億円、同7.3倍)は、タイ(2百万円→16億円、同680.2倍)及び中国(4億円→17億円、同4.3倍)からが増加し、2か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

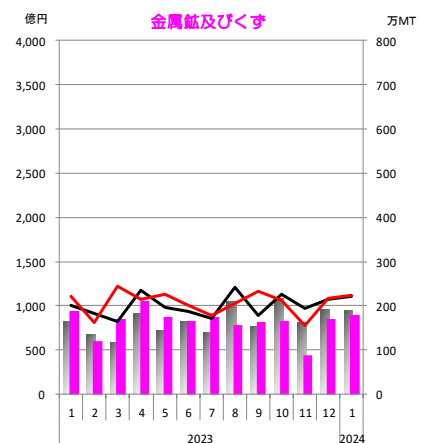
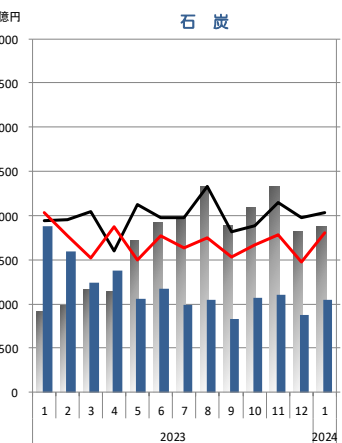
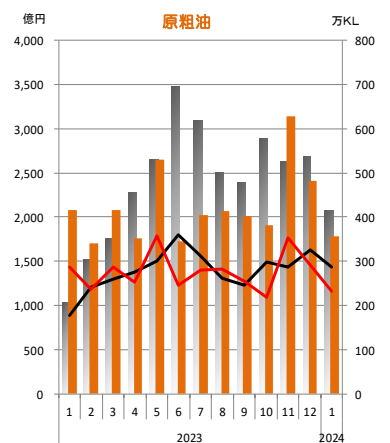
令和6年1月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。